

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業
実施報告書

- 1 学校名 古川町立古川西小学校
- 2 実施内容
 - (1) 学習したことをまとめる ポスター作り
5年の総合的な学習において、一年間かけて、学習してきたことについて、各自がワープロソフトを利用し、一枚のポスターにまとめる活動を行った。
他学年でも、学習のまとめにPCを活用することが増えてきた。
 - (2) インターネットを利用した情報収集
三学期は、新しく4年生の社会において、インターネットを利用した調べ学習を行った。基本操作だけでなく、ネチケット学習を導入段階で位置づけた。他学年では、社会、理科を中心に各クラス6～8時間程度の利用が見られた。
 - (3) 六年生を送る会でのPC・プロジェクター利用
5年生が、六年生の思い出アルバムをパワーポイントを利用して作成し、ナレーション・音響効果を加えながら発表した。
 - (4) その他
4年生以上については、昼休み、放課後にパソコン室を解放しており、教科の発展学習として、インターネットによる情報収集活動が自由に行えるようにしてきた。特に、6年生では、「学校に残したいもの」について、ワープロソフトを使って、新聞にまとめ、卒業式に掲示する取り組みが見られた。
 - (5) 教員のPC利用
「キッズウエア」「スカイメニュー」などのネットワークソフトの活用を研修し、授業や学級活動での利用を検討した。また、一年間デジタルカメラで撮影したデータを収集・整理・蓄積する方法を学び、CD-Rへのコピーの仕方について研修を行った。(著作権、肖像権等の問題やその対応についても研修した。)
- 3 時期 平成15年1月～3月
- 4 成果と課題 どの子ども意欲的にインターネット情報を気軽に検索し、調べたい情報を活用しようと取り組んでいた。また、必要な情報のみを取捨選択する力が育ってきた。
- 5 今後の方向 情報収集から創造・発信活動へと児童の活動を深めていきたい。特に、児童自らが調査・研究した内容をまとめ、ホームページを活用して発信していくことが課題である。
また、ネチケット指導も、口頭での指導だけでなく、ホームページを活用しながら、もっと低学年からの指導計画を作成し、実施していく必要がある。
全体計画の見直し、改正が必要である。